

江教組ニュース

2015
No.14

都教組江戸川支部
TEL 3651-3153
FAX 3655-3521



アベ政権は民主主義を揺るがし、戦争もする国づくりに向けての「国家統制」「国民犠牲」の政策を次々押しつけてきます。盛り上がった「民主主義って、何だ?」「これだ!」の火は消してはならない!!



改正学習指導要領は小学校が平成三〇年度に進めてきたものです。この問題も安倍政権四年四月中学校は三一年四月から全面実施を退陣に追い込むという解決の道が一番確かなりです。それにともなつて道徳が教科かと思ひます。「学習指導要領解説」が手に入として、学校教育に位置付けられてきまるとなつた今、その狙いを解明し、今後この流れは、すでに、皆さんも知るところとばかりに検討しなければなりません。こうも思ひますが、安倍晋三氏を中心とする「靖国派」のグループが「戦争をする国」青年たち。戦前の教育がそうさせたという事「企業の利益」を支える人づくりを目指し 実は決して忘れてはいけません。



戦争法廃止 決意新た 国会前「19日行動」に9500人



道徳の「教科化」も目前!!

呼びかけは「総がかり行動実行委員会」です。信号を挟んだ向かい側にも多くの人があふれ、「戦争法廃止」「野党は共闘」と書かれたプラカードを掲げます。主催3団体からあいさつがありました。高田健さんは、戦争法廃止を求める2000万署名を参院選前までに必ずやり抜くため、全

国津々浦々で始めようと訴え。「この日は、ただかつて廃止に追い込むために集まる日です。決意を新たに頑張りましょう」と呼びかけました。同実行委員会は、毎月「19日行動」として全国各地で行動することを呼びかけています。

都教組、不当勧告に断固抗議!

給料表引き上げは2級以下の若年層と管理職のみ!!
査定幅拡大のため成績率提出額一律8%!!

成績率見直し提案

成績率の原資(拠出金)を月数ではなく率とし、定年前職員、再任用職員とも、全職員一律8%にするというもの。主幹、指導教諭以外は現在(0.03%)の4.5倍の拠出額(例えば、一、〇〇〇→五、〇〇〇)となり、四〇歳主任・行2-165の職員の勤勉手当の試算では上位と中位の支給額の差は現行三〇、六七九円から八三、五〇七円にも拡大することになります。都は格差拡大によって、「意欲」の「高揚」を説明しているようですが、それどころではなく、「中位以下」であった場合、生活の危機すら感じます。他にも、「旧格付見直し提案」等対象者には厳しい提案もあります。未組の人にも都の不当な提案を知らせ、その姿勢を糾弾する声を大きく上げましょう。

- ☆都労連第5波総決起集会
11月5日(木)16時都庁中央モール
- ☆都労連第6波総決起集会
・都庁包囲デモ
11月12日(木)時刻未定都庁中央モール
- ☆都労連実力行使(予定)
11月13日(金)1時間ストライキ配置

私たちは子どもたちの豊かな「学び」をめざして
より高い「実践力」をと考えています。



実践講座

体育マット運動第二回

10/20
(火)
船二小



参加された
みなさんの
感想です。

「体育マット運動第2回」を大貫耕一先生を講師に迎え、船堀第...
参加を得て、大変、充実した研修会となりました。
チームの作り方から始まり、マットの準備の仕方、場の作り方、スタートや子どもの声かけの方法、片付け方と、こと細かに教えていただきました。内容的にはマットの準備体操の仕方、かた倒立から開脚後転、側転がきれいにできるようにするための指導順序、様々な技を獲得した後でのお話マット。それを発展させた高学年の音楽マットの指導と子どもたちが生き生きとマット運動に取り組めるための工夫をたくさん学びました。

参加された先生の感想をいくつか掲載します。講座のようすをイメージしていただけたらと思います。
☆生まれて初めて倒立(補助あり)ができてとても嬉しかったです。あまりに自然にできて、感動するタイミングを失ってしまいました。マット運動は私のように苦手意識を持つ子どもも多いと思います。今日の「ねこちゃん体操」や「お話マット」を生かしてマット楽しい！って思えるような企画(授業)を考えたいです。①重心を意識すれば②ゆっくり時間をかけて取り組めば、体を動かすことの楽しさを感じることができるとおもいます。 ー小Oさん

☆マットがあまり得意でなく、好きではなかったのですが、今日は楽しくできました。今日やってみていきなりではなく段階を踏んでいくこと、できたことが繋がっていくことが実感できるので、是非、実践していきたいと思っています。 E小 Nさん

☆苦手な敬遠しがちだったマット運動ですが、終わってとても面白い充実感とできるんだ!という自信に満ちています。教えていただいた大貫先生をはじめ、一緒に受講した回りの先生に感謝です。子どもと共に楽しく学習していきます。 S小Nさん

☆毎回とても楽しく参加させていただいています。自分の技が成立するのか、ゆっくりと重心を動かすのでよく分かります。子どもたちにも、伝えます。ー二小Kさん

次はこちらです。

様々な「圧力」の中ですが教育は子どもたちの権利を守るための生業だといつことは基本中の基本です!!

一人残らず学びに参加する授業・教室、そして学校をつくりませんか！
それは、私たちの創意と工夫次第、一緒に研究しましょう！

江戸川学び合う学びの会第15回学習会

☆日時 2016年11月11日(水) 午後6時30分
☆会場 船堀第二小学校
☆提案授業 後藤 昭彦先生(6年生 理科)
☆助言 大鳥 茂先生(東葛西中学校)

参加費300円をお願ひします。

「学び合う学び」が深まる時 石井順治(著)

前半は主に「学び合う学び」いわゆる協働学習がなぜ必要なのかを説明し、後半は実践例を通して「学び合う学び」とはどういうものかを説明しています。
p141.「学びは、教師が示す課題の能力と協働的な学びによって実現します。」
こう述べているように、簡単にできるものではなく、教師にも「覚悟」が必要であることを主張しています。
石井先生の気持などを考慮するととてもお気な気持ちが伝わってまいりました。どんな内容か、ぜひ読んでみてください。(アマゾンレビューから)

しばらく、お休ませていただきましたが再開致します。
学年を越える毎に、学びから逃避していく子どもが増えていく現実を直視していますか？
真剣に受け止めていますか？
そこに注目してこの「学習会」は始まりました。
「知りたい」から学ぶ。「分からない」から学ぶ。これが「学び」の本来的な姿です。その原点にかえて、教室の全ての子どもにも「学び」を保障しよう。
これが会の目標です。
まさに「言うは易く行うは難し」ですが、佐藤さんが提唱し始めた「学びの共同体」に学びつつ研究を進めています。

主催 江戸川『学び合う学び』の会 ・後援 都教組江戸川支部 連絡先 (3651) 3153

ぜひ、読んで
ください。

一人の子どもも一人にしない教室。
一人の教師もひとりにならない学校
ない。(本の一部)

なぜ、教室に入ると騒ぎ出す子どもがいるのか。なぜ、彼らは授業を妨害するのか。なぜ、彼らは学びから逃走するのか。私たちは、これら一つひとつを「困難を抱えた子ども」から学ばなければなら

